

期 日 2023年2月27(月)

17:00~19:00

参加方法

申込みフォームより申請

参加締め切り日：2月23日(木)

振込締め切り日：2月24日(金)



URLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/Hd3JdoTwcQv8ytTV9>



参加費

会員：無料 非会員：2000円

非会員(学生)：1000円

振込先

三井住友銀行 牛久支店

口座番号：(普通) 4464879

口座名義：日本体育・スポーツ経営学会

本学会の創設以来、多くの会員が体育活動やスポーツ活動を振興・推進するための条件整備や組織的活動に問題関心を寄せ、営利・非営利、官民・公私にまたがる様々な実践領域を対象として研究を蓄積してきた。それら知見は、わが国の体育・スポーツに関わる具体的な経営事象に対して、有意義な示唆を与えてきたといえるだろう。だが、紛争・貧困・人権・環境・感染症に関わる問題解決が各国共通の課題として地球規模化している今、一国の問題が常に国際社会全体の相互関係の中で生じていることを認識する必要性が高まっている。近年開催されたメガスポーツイベントの数々を振り返るまでもなく、スポーツにおいても、各国が抱える課題や相互関係は拡大・強化している。スポーツが個人の欲求充足を超えて公共的な価値を生み出したり、産業として拡大したりすることで、国際社会全体の幸福や平和に貢献することを期待する動きも活発になった。その一方で、東京2020大会において生じたとされる汚職事件は、幸福や平和を標榜するスポーツと隣り合わせて、スポーツの文化的価値を毀損するような行為が存在することを露呈してしまった。グローバルなスポーツの展開における経営事象を学術研究の立場から厳しく問う目が強く求められる。体育・スポーツ経営の実践と研究に関わる国際的な貢献はもちろん、わが国の体育・スポーツ経営の姿を反省的に捉えるためにも、海外における実践と研究に目を向ける意義は大きい。そこで本研究集会では、国内外の動向について造詣が深く、積極的に研究活動を行っている気鋭の若手会員を招いて、体育・スポーツ経営研究の今後の課題を議論していきたいと思う。国際的動向をキャッチアップするだけでなく、わが国の体育・スポーツ経営実践と研究を相対化し、今後の研究活動を豊かにする建設的な議論を期待したい。

海外の研究動向と日本への示唆

■スポーツマネジメント関連学会の動向と論文投稿の実際
山下玲氏(早稲田大学)

■国内外におけるスポーツマネジメント研究の計量書誌学的レビュー
宇野博武氏(武庫川女子大学)

■海外比較研究から得られる日本への示唆
笠野英弘氏(山梨学院大学)

司会：天野和彦氏(東北学院大学) 松永敬子氏(龍谷大学)

※発表タイトルは変更になる場合もございます。予めご了承ください。

問い合わせ先

日本体育・スポーツ経営学会 第68回研究集会 事務局

担当：朝倉雅史(筑波大学/研究国際委員会)

E-mail jamps.office@gmail.com